

# 視聴覚教育

NO. 363

発行日

22. 6. 18

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

## 視聴覚用語

「ユビキタス」

「いつでも、どこでも」ほしい情報が得られ、大量の情報を交換でき、だれもが利用しやすいコンピュータ環境をつくること。さまざまな機器をインターネットなどに接続し、外出先でも携帯電話などからコントロール可能となる。

## Ⅱ 視聴覚教育あれこれⅡ

### ● 第6回「プリントコミュニケーションひろば」

入賞作品決まる!

学校におけるよりよいコミュニケーション環境づくりを目指したコンクール(理想教育財団)に、市内の先生方から多くの応募があり、次の方々が入賞、入選されました。おめでとうございます。(学校名は平成21年度勤務校)

#### 【優良賞】

中根 千佳(北野小) 武井 翔(北 中)

#### 【ひろば賞】

平木 教男(鳥川小) 名倉 嘉章(井田小)

#### 【学校奨励賞】

井田小学校

#### 【新人賞】

成瀬 美穂(美合小) 平岩 大督(井田小)

#### 【佳作】

藤田 宏(城南小) 水越 健介(連尺小)

岡本 孝幸(北野小)

### ● パナソニック教育財団による実践研究助成

「実践研究助成」は、視聴覚・情報通信メディアを効果的に活用し、教育課題の改善に取り組む実践的な研究計画について、助成されるものです。今年度の岡崎市における実践研究助成先は、次のとおりです。

#### 第36回(平成22年度)実践研究助成校

○岡崎市立秦梨小学校

「ふるさと秦梨の自然を観察・記録・分析し、発信する」ふるさと、秦梨を愛する子をめざして」

○岡崎市立井田小学校

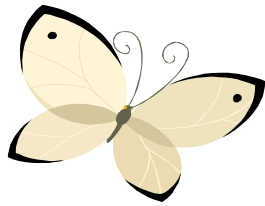
「地域の映像制作を通して取り組む表現力の育成」

## 50 インチデジタルテレビの教育的効果

学習情報指導員 島田 繁直

「えーっ!」

50 インチデジタルテレビの画面いっぱい映し出されたむし歯の画像を見た小学校二年生の子供たちの驚きと悲鳴に近い声、教室にあふれます。衝撃的な画像一枚を提示しただけで、むし歯の怖さを実感した子供たち。その後、正しい歯の磨き方を養護教師から教えてもらい、丹念に歯を磨く子供たちの姿がありました。また、ある学校では、小学校三年生の子供たちが、教材提示機をデジタルテレビにつないで、今、まさに行われているモンシロチョウの羽化の様子の鮮明な映像を観て、生命の神秘さに心を打たれていました。



たった一枚の画像、一分に満たない映像でも、大きな画面に鮮明に映し出された資料が、子供たちの学習意欲を今まで以上に喚起している、いくつかの学校から伝え聞きます。各学校の普通教室に設置されたデジタルテレ

ビやノートパソコン、教材提示機などのICT機器は、学習意欲や興味関心の喚起、分かりやすい授業の実現など、児童生徒にとって大きな効果をもたらすものです。その効果を、先生方は改めて実感していることと思います。

一方で、構造的な板書や発問、問い返し、息の長い話し合い活動の工夫など、分かりやすい授業、子供たちが主体的に活動する授業改善が進められています。今まで多くの先生たちが培ってきた「ノウハウ」に加え、「デジタルの良さ」を加味することで、子供たちが分かる喜びを感じ、より主体的に取り組む授業に変わっていくことでしょう。

「どんな使い方があるのか分からない」から「こーやって使ってみようか」という前向きな利用が、先生たちの指導法の幅を広げることにのみならず、職員室で活用例を話題にすることで、多くの活用法を共有でき、それが目の前の子供たちの授業での生き生きした姿につながってきます。今年度は、どの学校でも職員室で「こー使ったら、反応がよかった」という話題が溢れることになるのではないのでしょうか。

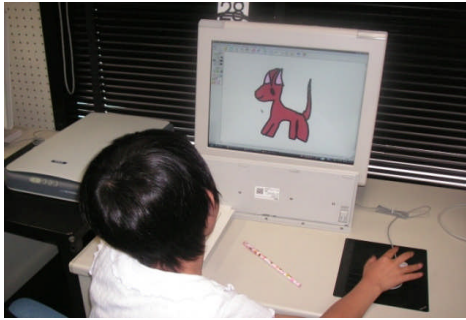
## 実践報告Ⅱ

### 「キューブキッズ」を使用して

羽根小学校 北本 直樹

二年生の図工「たのしくつかえるマグネット」の単元において、パソコンソフト「キューブキッズ」を使用し下絵を描かせた。

マウスで線を描き、色を選んで線で囲まれた所をクリックすると、一瞬で色を付けることができる。そして、いろいろな色を何度も試しながら、自分の思いに合う配色を探すことができる。



この実践を通して、発見したことは二つある。一つ目は、児童が何度もやり直すことができる利点を生かして、様々な色を試していたことである。単色以外の色を工夫して使用した児童もいた。二つ目は、マウスで線を描くのは低学年には難しいだろうと思っていたが、意外にもピンクのうさぎやアニメのキャラクターなど巧みにマウスを使い、絵を描いていたことである。

絵を描く、色を塗るという作業にパソコンソフトを使用することに不安はあったが、児童が楽しみながら作業を進め、よい作品づくりにつながることができた授業となった。

## レッツ・トゥデイ＝

### 「CASSETTE to DIGITAL」

岡崎視聴覚ライブラリーには、多くの機器がある。その中でも今回は、ライブラリーが所有する珍品を紹介しよう。

#### novac社製マシンの「CASSETTE to DIGITAL」

である。昔購入した希少価値の高い音楽カセットや、貴重な生声の録音テープなどのアナログ音源を、手軽にデジタル音源に変換できるすぐれものだ。パソコンと接続し、ソフトとドライバをインストールすれば、ワンタッチでカセットテープ音源をデジタル化できてしまう。MP3、WMA、WAVの3種類からフォーマットも選べる。テープが終わると録音も停止し、複数曲入ったテープならばブランクを認識して自動でトラック分割することも可能である。ラジオやレコードプレイヤーなどからの音声も、デジタルデータに変換することができる。

眠っているお宝テープがダメになる前に、デジタル化しておいてはいいかがでしょうか。



（岡崎小学校 学習情報主任 坂田 健一）

## ライブラリーだよ

### ●平成22年度「親子映画会」のお知らせ

#### 〈上映日と会場〉

・ 7月18日（日）

岩津市民センター 東部市民センター

・ 7月25日（日）

南部市民センター（シビックセンター内）

・ 8月8日（日）

矢作市民センター

・ 8月22日（日）

中央市民センター ぬかた会館

#### 〈上映時間〉

・ 午前の部 10時～11時30分

・ 午後の部 13時30分～15時

#### 〈上映映画〉

・ ぼくは王さま ・ きもだめしのぼん

・ のつぺらぼう ・ かばのポトマス

・ ぼくのダイエツト大作戦

・ 10+1ぴきのかえる など

### ●「ビデオ講習会」のお知らせ

#### 〈日程〉 7月31日（土）

9時～16時30分

〈場所〉 福祉会館6F

#### 〈内容〉 ビデオカメラの基本的な

撮影の実習、撮影した素材の編集実習など



※詳しくは岡崎市視聴覚ライブラリー

（電話23-6789）まで